

考  
え



世紀初頭先パイ伝説

弦楽器イルカ⇒友人

今さらだけど、春樹がエルサレム賞を獲った時の「卵」のスピーチを読んで、すごくいいなと改めて思った。

ただノーベル賞騒ぎもそうなんだけど、「同じ国の人間として誇りに思う」って簡単には言いたくない。兄弟や親せきならまだしも、たまたま同じ国生まれの一億二千分の一ってだけで、俺なんかの誇りにされたら春樹もやれやれだよ、きっと。「僕」のふんどしで相撲取りすぎな「ウマシカ」の日常が、切なくも物憂げに過ぎていく2015年の冬を描いたアレって、文庫の裏とかに書かれるはずだよ、きっと。

せめて（Uみたいに）海外で暮らしてて周りから「春樹と同じ国だね」ってフリがあって、「彼を誇りに思う」って文脈ならまだわかるけどね。テレビの人らは何でも派手に目立つことで何らかの利益を得たいだけだと思う。もちろんハロウィン騒ぎと同じで、したい人はすればいいけど、俺には関係ない。

さて、卵のメタファーにはいろんな意味があるって春樹は言ってる。弱い個人が権力に殺されるって意味。我々は誰しものが卵で、尊厳ある魂を殻の中に持ってるって意味。

そして春樹は、たとえ間違っているとしても自分は常に卵（=個人）の側に立つ、逆にどんな国も支持しないって言ってる。これはもちろん生まれた国も含め世界中どの国も、そしてたぶん組織も支持しないって意味だろうと俺は受け取った。二人以上の組織は極論すればすべてシステムとなり、壁の側になる可能性があるからだ。

つまりこれは政治問題だけをどうこう言ってんじゃないはずだ。もちろんイスラエルは壁の側で、パレスチナは卵の側って構図はある。イスラエル側もこのメタファーを歓迎はしないだろうから、わざわざ呼ばれた先で物議を醸すようなスピーチをする春樹の公平さを評価したい気持ちはある。でもそれも単純な考えかなって思う。

この世界に、絶対的な善悪や正誤は存在しない。無差別殺人するテロリストにも大義面分があり支え合う家族もいたりするし、純粹そうなアイドルだって恋愛坊主する。

人々は便宜的な優しさと残酷さの間で日々選択しながら行動して生きてる。もちろん完璧じゃないから、何らかの壁にも突き当たるだろう。それが人間だ。

春樹にとって重要なのは善悪や正誤じゃない。人間を描くことだ。一人一人に宿る魂の尊厳を認め、個々人が壁と対峙する様を深くえぐるのが作家だと俺は受け取った。

作家としての核心であり、ある意味では業だと思う。

んで、この話には続きがある。

このスピーチをとある有名人らが揶揄してる古い記事をネットで読んで、逆批判ではなく、俺が書く意味について改めて考えた。

まず原稿料をもらって何かを揶揄する場合、「自分はバカにする相手がいなければご飯が食べられない人間です。例えるなら自分は、クソをバカにしながらクソにたからないと生きていけな

いハエです」って表明してるのと一緒だろう。もちろん自分がある意味ハエであるという自覚は誰しもが持っているはずだ、よね？

また揶揄する相手が自分より圧倒的に強い権力者等の場合であれば、反骨的な批判精神を読者に評価されるかもしれない。でも自分よりも有名で売れてる作家一個人を揶揄し、更に「海外作家〇〇のスピーチと比べたら、春樹ごとき足元にも及ばない」ってやっちゃったらそれもう、「〇〇先パイの伝説知ってる？ やべえ、お前ごとき目じゃねえ」って無邪気なDQNと一緒にだろう。

もちろんその有名人らも面白い本を書く人格者なんだろうと皮肉じゃなく思うし、別に好きにしたらいい、ハエとして。

ただ同じハエでも俺は、揶揄するだけで自己実現を完成させるハエにはなりたくない。絶対的な善も悪もないと知りながら、自分の常識だけを絶対神の棚に祀って、物事を独善的に語りたくはない。

最近思ったんだけど、現実の生きにくさは「無知の知」と関係している気がする。

古代より厚顔無恥で馬耳東風の人々が世を牛耳り、「無知の知」を肝に銘じている人々は隅っこに追いやられていたはずだ。それなら毎月身銭切ってまでこの隅っこのスペースに甘んじてるのを嬉々として受け入れる俺だ、どうせやるなら「無評の評」でいきたい。

できる限り公平に、良し悪しではない俺なりの新しい物語を語りたい。もちろんそれは絶対でもなんでもないから、Uと議論して磨き上げていきたい。

というワケで前置きが長くなったけど、今回はUに問いかけて次への糸口を見つけ出せたらいいと思うので、よろしくお願いします。

そこで早速なんだけど。50~100年後くらいの世界について、Uがどう考えるのか教えてほしい。

当然だが世界の権力者は、俺らみたいな一般庶民が入手できない機密情報を基に、今後の世界情勢を綿密に分析してるだろう。だから将来を見据えて政策を立案してるはずだし、この国は将来どうなるのか、どうしたいのかをできるだけ具体的に国民へ向けて提示すべきだと思う。でも俺にとってこの国の権力者は場当たりの説明ばかりで、具体的な将来像があんま伝わってこない。

Uも言った通り、将来がわからないから争いが起こるのならば、安保でも原発でも甲状腺でも白血病でも、テロでも戦争でも後方支援でも徴兵制でも、金融緩和でも官制相場でも地球温暖化でも年金破綻でも野球賭博でも何でも、将来どうなるか、将来どうしたいのかを一人一人が具体的に語り出せば、お互いの訂正点を指摘できたり、より建設的な議論ができるだろうと思う。そこで議論が深まれば、利権による報道規制やタブー視されてる情報ももっと明るみになるかもしれない。（ここでいろんなタブーっぽい情報について書きたかったけど、長くなるので割愛）

んで、俺が前から考えてたこの国の未来はだいたい以下のようなになる。

「この国は超高齢化、人口減少、格差拡大、そして労働力確保のための移民増が進み、金持ちは召使いを何人か抱えて高収入の暮らしをしている。一方、移民や貧乏人等が暮らすスラム街みたいなエリアも増え、居住区による治安格差も拡大する。輸入食料の増加による食料自給率の減少と、都市部への人口集中、地方農村の過疎化も進む。

更に内需の減少等もあり、世界の中でこの国の経済的地位や発信力は相対的に低下し、逆に市場の大きい大陸国（中露印等）の地位が相対的に向上する。それは過去に島国の英と大陸の米の地位が逆転した歴史と同じだと考える。そうなるとこの国は将来、大陸国の属国扱いになっている可能性もある」

皮肉や諦めではないし、「こうならないためにどうするか」とか「最悪の想定」とかでもなく、単に俺が合理的に妄想したらこうなる。

んでここからが本題だ。こういう妄想をする俺から見れば、この国の権力者は「徐々に衰退するこの国で、減少し続ける自分たちの利権をどうやって確保し続けていくか」という現実を見据えて政策を立案してるように思える。

つまり今は対米従属が最も得策だが、近い将来を見据えれば伸長する大陸国にもすり寄っておかないと置いてかれる可能性もある。むしろ大陸国の自然に伸び行く経済を無理やり叩くより、育つ方に金を払って恩を売り、これから生まれる利権を一足先に確保したいという思惑があるように思える。

もちろん各国の権力者たちは、自分 親族・友人 支持者等の順に利権を確保し、一般国民や敵対する勢力に利権のおこぼれはないだろう。汚職や隠ぺいが日常茶飯事の権力者が俺らみたいな貧乏人のために政治を行うとは思わないし、左右関係なく権力者の集団を信じるのは、恋愛しないアイドルの集団や、他民族を排除すれば問題がすべて解決し幸福が実現する集団等を信じるのに近いと俺は思う。

ちなみに昔言ったことあるけど、じゃこの世で一番幸福な人って誰だか知ってるって、タケカワユキヒデだよ（断定）。才能があるおかげでゴダイゴで売れてリスペクトもされて、かといって自分を押し潰したり自殺したり薬漬けになるほど大きすぎる才能はなくて、かつその才能のほどほど具合に割と無自覚で、子供も養子もたくさんいて、売れない小説まで出版して、おまけに子供と一緒に人前で歌ってCDまで出してる。そんなタケカワユキヒデがJリーグ全盛の年に、「オーレーオレオレー！」に対抗する目的で野球協会に依頼されて作成した「ドンマイMYフレンド」。これが幸福とは何かをすべて物語る、歴史に残る世紀の凡作だよ。幸福とは「ドンマイMYフレンド」だって俺、学生の頃この定義しなかったっけ？ どうでもいいけど。

（ちなみに直近では米中対立のニュースがあるけど、従属のみで米に逆らえないこの国と比較すると、良くも悪くも米に物申すだけの力を中が持っている裏返しと取ることもできるだろう。

あと、株に年金突っ込むのは表向き株価を上昇させるためだが、「年金を年金のまま寝かせておくと国内の貧乏人がただ受け取るだけで、世界の金持ちには旨味がない。それより株に突っ込

めば国内外の金持ちも手を出せるから、合法的に世界の金持ちに分配できる」システムだと俺は思う。突っ込んだ年金はいずれ市場から回収しなけりゃならんように思うが、回収すれば当然株価が下がるリスクが予想されるから、未来の内閣は誰もやりたがらないだろう。これこそ「ツケを将来に回すミクス」じゃないかと俺は思うが、語呂も悪いしまぁウマシカな素人考えに違いない。)

今この世界に必要なのは、「僕の、私の、天下一未来予想図会」じゃないかと思う。自分の考える将来の世界像と、こうなってほしいと願う理想像を一人一人提示して、より現実的で理に適っている未来予想図は何かを比較検討すれば、そこから新しい「ア・イ・シ・テ・ル」のサインがつかまえられるんじゃないかな。

ん、オチてるか、これ？ まぁいいか、世紀初頭 ドンMY 伝説ってことで！

今回は書きたい情報ほぼ割愛したけど、長くなるのでこのへんで。

さて、どうかな？



## 「はみだしウマシカさん その10」

---

ちなみに俺のこうなってほしい未来妄想図は、原発の作業員とか駆けつけ警護する某J隊員の年収を最低でも一千万円以上、できれば年収一億円以上にして、万が一殉職されても遺族は一生安泰を保障する、そうなれば安保でも原発再稼働でも好きにしたらいいと俺は思う。

その原資として、政治家とか天下りの年収の上限を一律一千万円にして、どの公務員や天下りがいくらもらってるかを徹底的に透明化して、今後どのくらいもらうべきかの国民投票を公平にやればいいと俺は思う。

きっと何年たっても未来妄想図はほら思ったとおりにかなえられないけどね。





考えるウマシカ～第二十八回 『ドンマイMYフレンド』と無評の評～

<http://p.booklog.jp/book/102706>

著者：弦楽器イルカ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/gengakkiiruka/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/102706>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/102706>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ